



白虹橋上部工架設工事（京都府）

第69期 株主通信

平成28年4月1日～平成29年3月31日

 株式会社 ピーエス三菱

証券コード：1871

株主の皆様へ

当社グループは、PC業界のトップランナーとしてグループ力を結集し、成長分野、新分野に果敢に挑戦する「魅力あふれる企業集団」を目指してまいります。

これからも「人と自然が調和する豊かな環境づくりに貢献する」という基本理念を胸に、健全経営に努めてまいります。

代表取締役社長
社長執行役員

藤井敏道



▶ 当年度の事業環境について

株主の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。「株主通信」をお手元にお届けするに当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、海外経済の回復等による輸出や生産が持ち直し、政府による経済政策や日銀の金融緩和を背景とした企業収益の改善が持続しております。また、個人消費においても雇用・所得環境の改善を受け、力強さは欠くものの回復の兆しが見えはじめ、概して堅調に推移しております。一方で、米国の新政権における経済政策の動向、英国のEU離脱問題等の国内景気への影響など、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

当社が属する建設産業におきましては一般的に追い風と言われており、公共投資に重点がおかれた経済政策が盛り込まれております。第二次補正予算の内訳をみると、「21世紀型のインフラ整備」や「熊本地震・東日本大震災の復興、防災強化」などの割合が大きく、民間設備投

資においては、景気回復に伴う設備投資、既存設備の老朽化を背景とした維持・更新投資、人手不足を背景とした合理化・省力化投資等の需要も多く、企業収益は好調に推移しております。

▶ 当年度の概況ならびに業績について

このような経済状況のもと、当社はグループ全体での収益最大化を目指し、土木部門では、新設橋梁の安定的な受注・売上規模を維持しつつ、大規模更新事業・メンテナンス分野の事業規模の拡大を目指し、既存構造物の長寿命化や補修・補強等に関する技術・施工ノウハウを確立し、主力分野の変化に対応できる事業体制を整備しております。建築部門においては、勝ち残りのための競争力の向上を目指し、PC建築部門の増強・拡大および一般建築部門の基盤強化、新分野への取り組みに注力し、ソリューション営業の推進等、PC技術を取り入れた企画・提案型の受注活動に取り組んでまいりました。

当社グループの平成28年度の業績は、受注については、1,030億13百万円（前期1,156億70百万円 前期比10.9%減）となりました。連結売上高につきましては、前期からの繰越高の増加により967億15百万円（前期960億66百万円 前期比0.7%増）となりました。損益の状況につきましては、当社ならびに子会社の業績が順調に推移したことにより、連結営業利益36億87百万円（前期28億91百万円 前期比27.5%増）、連結経常利益34億54百万円（前期27億99百万円 前期比23.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益26億53百万円（前期18億17百万円 前期比46.0%増）となりました。配当につきましては、前期より4円00銭増配し、普通株式1株につき12円00銭の期末配当を実施させていただきます。

▶ 今後の取り組みについて

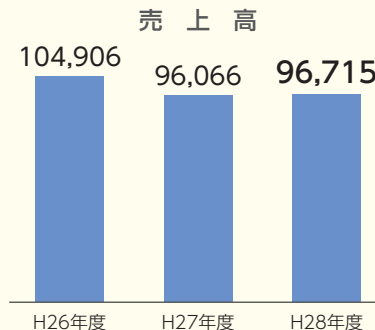
当社といたしましては、引き続き主軸事業（PC新設橋梁・一般建築）において安定した収益を確保するとともに、経営変化の備えとなる「中期経営計画2016（2016年度～2018年度）」の基本方針・基本戦略に基づき、2年目以降も当社グループ全体で連携し、「成長へのリード」、「新しい分野への挑戦」に向けた体制の整備に取り組みながら、採算性を重視した堅実な経営を継承してまいります。

当社の使命は自然災害に強い国土を造り将来に残すことであります。「人と自然が調和する豊かな環境づくりに貢献する」という基本理念に基づき、高度な社会資本の充実に寄与するために常に新しい技術の開発にチャレンジし、建設事業を通じて安全で高品質な建設生産物を供給してまいります。また、コンプライアンスを徹底して、健全経営に努めるという「基本的な社会責任」を果たしながら、積極的に社会貢献も行っております。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りまして、今後ともより一層のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

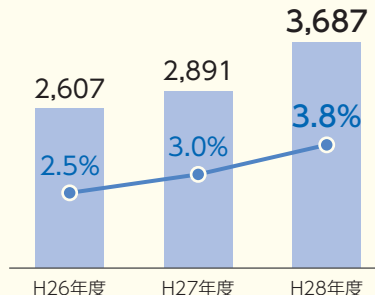
連結財務ハイライト

単位：百万円



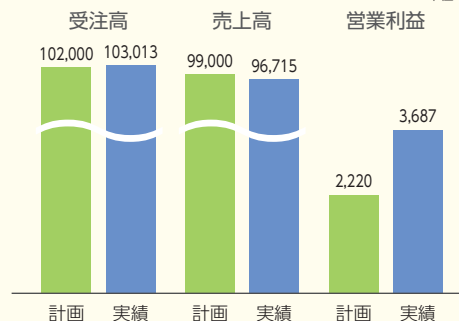
営業利益／営業利益率

単位：百万円



中期経営計画／実績対比 (H28年度)

単位：百万円



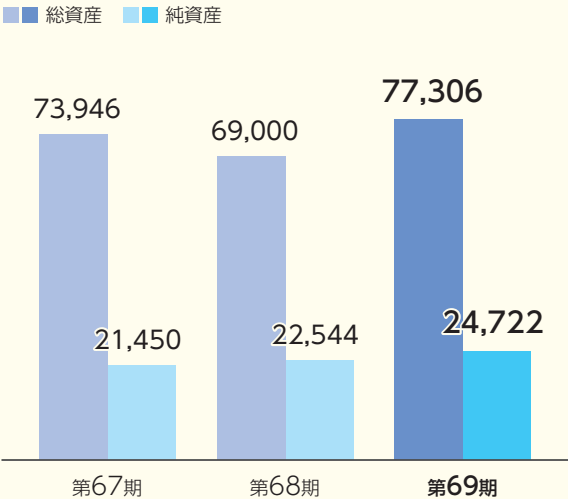
連結決算の概要

連結貸借対照表（要旨）

単位：百万円

科 目	前期末	当期末
	平成28年3月31日現在	平成29年3月31日現在
流動資産	52,644	60,263
固定資産	16,356	17,043
有形固定資産	12,036	12,232
無形固定資産	33	217
投資その他の資産	4,287	4,593
資産合計	69,000	77,306
流動負債	36,806	42,254
固定負債	9,649	10,328
純資産	22,544	24,722
負債・純資産合計	69,000	77,306

総資産／純資産 単位：百万円

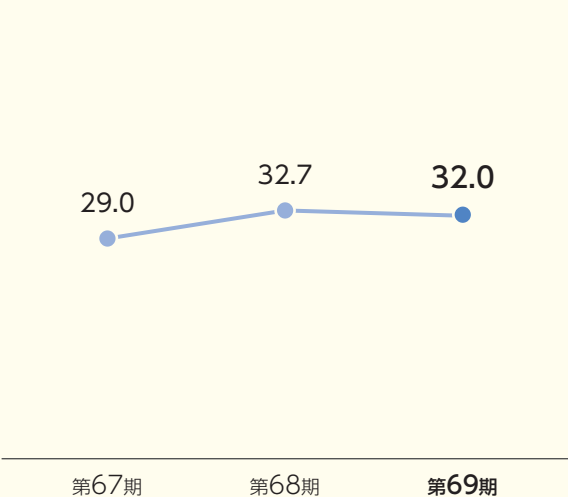


連結損益計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	前期	当期
	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
売上高	96,066	96,715
売上原価	86,046	85,255
売上総利益	10,020	11,460
販売費及び一般管理費	7,128	7,773
営業利益	2,891	3,687
経常利益	2,799	3,454
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,817	2,653

自己資本比率 単位：%

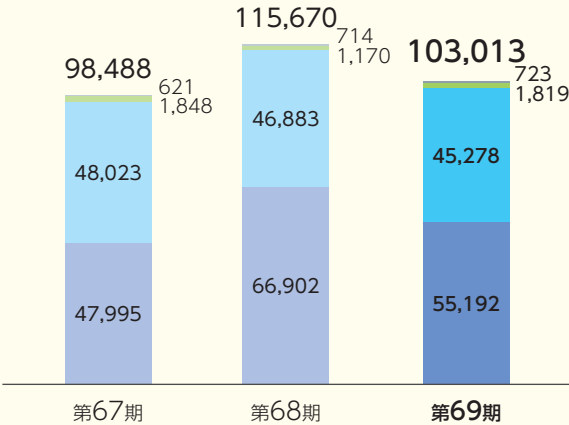


単体決算の概要

受注高（セグメント別）

単位：百万円

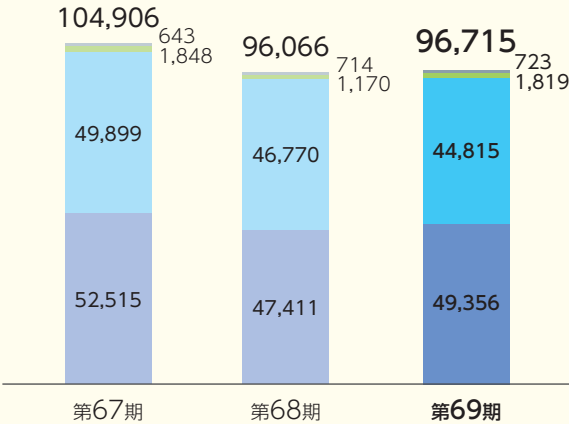
■ 土木建設 ■ 建築建設 ■ 製造 ■ その他



売上高（セグメント別）

単位：百万円

■ 土木建設 ■ 建築建設 ■ 製造 ■ その他



貸借対照表要旨（単体）

単位：百万円

科 目	前期末	当期末
	平成28年 3月31日現在	平成29年 3月31日現在
流動資産	47,360	53,200
固定資産	15,786	15,579
有形固定資産	10,032	9,900
無形固定資産	27	27
投資その他の資産	5,726	5,651
資産合計	63,147	68,779
流動負債	33,128	37,051
固定負債	9,034	9,179
純資産	20,984	22,549
負債・純資産合計	63,147	68,779

損益計算書要旨（単体）

単位：百万円

科 目	前期	当期
	平成27年 4月 1 日から 平成28年 3月31日まで	平成28年 4月 1 日から 平成29年 3月31日まで
売上高	87,094	85,812
売上原価	78,921	76,905
売上総利益	8,173	8,907
販売費及び一般管理費	5,856	6,251
営業利益	2,316	2,655
経常利益	2,538	2,557
当期純利益	1,734	2,140

ダックスビームHC工法の開発

近年、河川改修や都市再開発事業に伴い、設置高さの制限が厳しい箇所に橋梁が計画される事例が増え、年間40～60箇所で（実績ベース）低桁高橋の建設が見込まれています。この市場におけるPC橋の採用拡大のため、低桁高橋に適用する従来の工法「ダックスビーム」（平成18年から11件の施工実績）より合理的で経済的な工法が必要と考え、新たに「ダックスビームHC工法」を開発中です。

昨年12月に当社技術研究所（神奈川県小田原市）で行われた公開実験では、支間12mの試験体で曲げ耐力確認試験を実施し、計算値以上の能力を有していることが確認されました。

従来に比べ、主桁制作費を30%、工事費を10%削減できるこの新工法が、今後の低桁高橋施工の選択肢の一つとして活用されることが期待されます。



曲げ耐力確認試験状況

PSMIX構法の適用範囲拡大

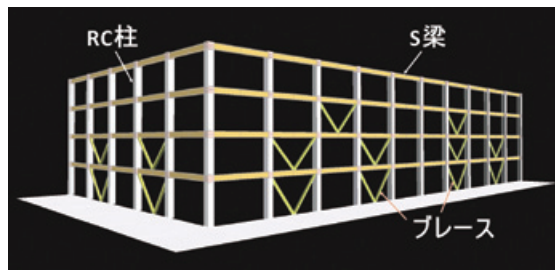
PSMIX構法は、柱を鉄筋コンクリート造、梁を鉄骨造とすることで、大スパン架構が構築でき、工期短縮・コスト削減となる合理的な構法です。

従来、ラーメン架構（※）のみで用いられていましたが、適用範囲を拡大すべく、ブレース（図表）を併用したラーメン架構にも適用できるよう研究を重ねてまいりました。

地震や風などの横からの力に対し、ブレースが構造物の変形を防ぐため、ラーメン架構のみと比べて柱・梁の断面を小さくできることから、今後、倉庫物件等への提案の幅が広がります。

（構造実験を実施後、（一財）日本建築総合試験所の建築技術性能証明の改定を行いました。）

※ラーメン架構とは… 柱と梁が一体となり、力を受けても接合部分が変形しないように溶接やボルトなどによって強力に接合された構造システムのこと。



実験状況



建築技術性能証明書

新名神高速道路 三重県内で集中受注－着実に実績を重ねております

三重県鈴鹿市・四日市市・^{こもの}菰野町において、中日本高速道路株式会社名古屋支社発注の新名神高速道路の4現場が鋭意稼働中です。(右表参照)

現名神高速道路とその機能を相互補完する新名神高速道路は、中部圏・関西圏を結ぶ新しい大動脈として、産業・経済・文化の更なる発展に寄与するものと期待されます。

工事名称	受注形態	予定工期	受注額
■ 鈴鹿高架橋他1橋 (PC上部工) 工事	JV (60:40)	H27.7 ～H31.1	6,000百万円
■ 内部川橋他3橋 (PC上部工) 工事	単独	H28.1 ～H30.6	1,935百万円
■ 菰野第二高架橋他3橋 (PC上部工) 工事	JV (60:40)	H28.2 ～H30.11	5,102百万円
■ 池底高架橋 (PC上部工) 工事	単独	H26.12 ～H29.9	2,395百万円
合計			15,432百万円



鈴鹿高架橋他1橋 (PC上部工) 工事



内部川橋他3橋 (PC上部工) 工事



菰野第二高架橋他3橋 (PC上部工) 工事



池底高架橋 (PC上部工) 工事

BCS賞を受賞（当社施工「Ribbon Chapel」）

当社が施工した「Ribbon Chapel」（平成25年竣工・広島県）が平成28年度の栄えあるBCS賞を受賞いたしました。

「設計者と構造設計者の緊密な協働から創造された構造のユニークさはもちろんのこと、細心の精度管理を行い、複雑な難工事をやり遂げた施工者の貢献も極めて大きく、建築主・設計者・施工者の見事な連携により実現されている」と高く評価されました。

※BCS賞とは

わが国の良好な建築資産の創出を図り、文化の進展と地球環境保全に寄与することを目的に、（一社）日本建設業連合会より毎年国内の優秀な建築作品が表彰されるもので、第57回となる平成28年度は17件の作品が選ばれました。



アジア圏各国における都市高速鉄道建設に参画

アジア圏では、経済発展とともに交通渋滞が激しくなっており、経済発展の基盤となる都市高速鉄道の建設が各国で始まっています。

ベトナム社会主義共和国

ホーチミン市郊外の合併会社VINA-PSMCロンアン工場でホーチミン市都市鉄道建設（ベンタインースオイティエン1号線）工事に『PCマクラギ』を製造しています。現地合併企業と協力し、高品質の製品製造に当社の技術とノウハウが活かされています。



PCマクラギ製造（ベトナム）



ベトナムを視察する藤井社長

インドネシア共和国

ジャカルタMRT（都市高速交通）の地下部分トンネルセグメントの全て、および高架部のセグメントボックス桁の製品を製造し、その性能や品質で発展途上国の社会基盤整備に貢献しています。



セグメントボックス桁製造（インドネシア）

女性が活躍し、イキイキ働ける職場づくりに取り組んでいます

当社は、「中期経営計画2016（2016年度～2018年度）」「女性の活躍推進行動計画」などを策定し、女性がより働きやすい環境づくりに着手しています。

どのような取り組みをしたら女性が働きやすい職場になるのか、理想的な環境ができるかを、実際に女性たちの声を集めることで、制度・規程類の見直しや職場環境の改善を図っています。

現場をあげて女性活躍を応援



現場に掲げられた横断幕

東京建築支店では、現場で働く女性を応援する取り組みを行っています。これを皮切りに全国展開を目指します。



ステッカー

経営陣と女性社員の対談

藤井社長をはじめ経営陣5名と当社の将来を担う女性社員7名が集まり、現状の悩みやこれからのビジョンについて熱く語り合いました。



タウンミーティングの実施

本社・7支店において、女性活躍推進行動計画に掲げる「女性社員の積極採用」「長時間労働対策」の他、職場環境や育児・介護等の規程類の見直し、教育研修に関する要望について意見交換を行いました。



女性活躍推進の取り組みにあたって

今回の取り組みで、多くの女性社員の意見を取り入れ、育児短時間勤務の取得を3歳未満から小学3年生まで延ばしました。また、「ハラスメント」に関する要項の改正も行いました。

タウンミーティングを通して、女性の皆さんが当社を良い職場環境と感じていて、更に良くしていきたいという会社愛を感じました。

これからもさまざまな意見を取り入れ、女性のみならず、ピーエス三菱の全社員がイキイキと働ける職場づくりに取り組んでまいります。



総務人事部人事グループ
佐々木 麻里

ピーエス三菱グループのCSR活動

当社グループは、全ての委員会（本社委員会・支店委員会・関係会社各社委員会）が同じCSR目標を掲げてベクトルを合わせ、PDCA（計画・実行・評価・改善）を回してステップアップを図ることで、CSR活動の充実を目指して取り組んでおります。

リスクマネジメント推進活動

リスク評価対象項目をリスク管理台帳より抽出し、四半期ごとに状況をCSR推進活動評価表に記載して確認するなど、PDCAを実践することで、リスクの回避、発生確率の低減および被害規模の低減を図ってまいりました。

コンプライアンス推進活動

当社では、毎年10月を企業倫理月間と定め、従業員の法務スキルおよび倫理意識の向上を目指し、さまざまなコンプライアンス推進活動を実施してまいりました。

- ・ 合同コンプライアンス研修会等
- ・ コンプライアンス誓約書および談合不関与誓約書の提出
- ・ コンプライアンス理解度確認テスト（e-ラーニング）
- ・ 人権研修（ダイバーシティ、女性と人権について）

CSR報告書2016

ステークホルダーの皆様へ当社のCSR活動に関する情報をご覧いただくため、当社ホームページにCSR報告書を掲載しております。
ご一読いただければ幸いです。



アドレスはこちら ▶ <http://www.psmic.co.jp/csr/>

コミュニケーション推進活動

現場作業所における社会貢献活動

工事現場にて近郊住民の方々や幼稚園児、小・中学生を対象とした現場見学会や技術系の学生の方を対象とした研修会を開催し、更に今年度は現場の職場環境をご理解いただくために協力会社のご家族向けの見学会も行いました。また、地域行事に参加するなどの活動も行っております。

これらの活動を通じ、見学会では多くの質問を受けるなど、建設業に対する関心と工事への理解をより一層高めていただくことができました。



小学生現場見学会（鈴鹿高架橋）



協力会社家族現場見学会（長内川橋工事）

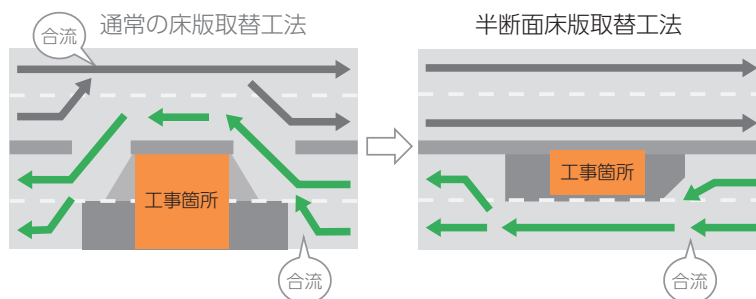
完成工事のご紹介・・・土木編

中国自動車道（特定更新等） 道谷第二橋（上り線）床版取替工事 〔山口県〕

本工事は、高速道路リニューアルプロジェクトの一環として、プレキャストPC床版による床版取替工事です。工事に伴う交通規制の社会的負担軽減を目的としたパイロット工事として、一車線ごとに床版を取り替える半断面取替工法により床版取替を行いました。



半断面床版取替工事の様子



新名神高速道路 猪名川橋（PC上部工）工事 〔兵庫県〕

本工事は、兵庫県川西市に位置する新名神高速道路の本線橋で、上り線が橋長743m、下り線が橋長598mのPRC連続箱桁橋です。

コンクリート橋ならではの美しいフォルムと落ち着いた感じのある重厚感、見る人の気持ちをやさしく和ませ、安心感を与えます。



東扇島コンテナヤード 改良工事

〔神奈川県〕

本工事は、川崎港コンテナターミナルヤード内のコンテナ置場およびガントリークレーン走行路の一部をプレキャストPC版で整備する工事です。

これによりユーザーの利便性の向上が期待されています。

日の出橋補強工事（その3）

〔愛知県〕

名古屋市南西部を流れる新川に架かる日の出橋。

その日の出橋の2橋脚をコンファインド水中施工法で耐震補強しました。

これにより、橋脚の耐震性能は現行の耐震基準を十分に満たす状態となり、地震時おける安全性が大きく向上しました。





北海道横断自動車道 フゴッペ川橋 (PC上部工) 工事 [北海道]

本工事は、現在建設中の北海道横断自動車道（北海道余市町～小樽市朝里町）のうち、起点（余市町）側に位置するPC橋です。平成30年度の全線開通が期待されています。

県道筑紫野古賀線 新大間池橋（仮称） 橋梁上部工工事 [福岡県]

本工事は、九州縦貫自動車道福岡ICに近く、主要渋滞箇所である県道筑紫野古賀線のバイパス工事の一環として架設された橋梁上部工です。

橋梁の上空には高圧線、下には池という難しい条件の中で、地上で桁を作って所定の位置まで押し出す「押し出し工法」という珍しい工法が採用されました。（第69期中間株主通信のトピックスでも紹介しております）



完成工事のご紹介・・・建築編



洲本総合庁舎建築工事

〔兵庫県〕 PC工事

昭和44年に淡路島に建設された庁舎は、老朽化に加え、阪神・淡路大震災と淡路島地震の被害による躯体の劣化が進んでいたため、建て替えが行われました。

当社は、プレキャスト・プレストレスト・コンクリート（PCaPC）工事を請負い、グループ会社のピー・エス・コンクリート(株)で製作した総重量約3,700tの部材を現地にて短工期で組み立てました。

グランイーグル多摩川スカイフロント サニーライフ東京大田

〔東京都〕

グランイーグル多摩川スカイフロントは、鉄筋コンクリート造地上15階建て総戸数114戸で、多摩川に面した全戸リバーフロントの分譲マンションです。屋上に設置した太陽光パネルで発電した電力を各世帯の電気料金に還元するシステムを採用しています。

一方、隣接するサニーライフ東京大田は、鉄筋コンクリート造地上6階建て居室数143室の介護付有料老人ホームです。



グランイーグル多摩川スカイフロント



サニーライフ東京大田



Lake Frame SHAKUJIKOUEN

【東京都】

本物件は、都心まで好アクセスでありながら、自然豊かな都立石神井公園を望む人気の地に佇む地上5階建ての賃貸マンションです。正面を縦ガラス張りにすることで、キッチンやリビングのソファで寛ぎながら、公園に広がる自然を満喫できるように全ての住戸タイプを計画しました。また、上質な外壁タイルの相乗効果により、地域のシンボリックな存在感を醸し出しています。

天理駅前広場空間整備工事

【奈良県】 PC工事

本工事は、天理市内に数多く点在する「古墳」をイメージし、駅前広場を市のにぎわい拠点とすることを目的に、ステージや子供の遊び場および商業施設が整備されました。

当社は2基の丸い構造物（古墳）のプレキャスト・プレストレスト・コンクリート（PCaPC）工事を担当し、PCa部材製作・運搬・架設・圧着工事を請負い、グループ会社のピー・エス・コンクリート㈱で製作した部材を現地にて短工期で組み立てました。





三菱マテリアル株式会社 九州工場本事務所新設工事 〔福岡県〕

本物件は、平成30年に九州工場操業100周年を迎えるにあたり、記念事業として建設された新本事務所です。構造にプレキャスト・プレストレスト・コンクリート（PCaPC）造を採用し、PCa部材に「銅スラグ[※]細骨材」を使用しました。PCaPC構造を採用したことで、大空間を可能とし、解放感のある事務所となっております。

三菱マテリアル株式会社 安全衛生教育センター緑館 〔埼玉県〕

本物件は、さいたま市大宮区に新築した三菱マテリアル株式会社グループの安全衛生教育の拠点として、安全衛生を体感・研修する施設です。PCa床版、PCa屋根の構造部材には、「銅スラグ[※]細骨材」を使用しております。

銅スラグ細骨材は工業製品であり、良質な天然骨材の安定供給が不安視される昨今において、供給量および品質の両面で安定した材料として期待されます。



※銅スラグとは

天然砂の1.3倍程度と密度が大きく、材質は非常に硬い上に吸水率が小さく、粒度分布も安定した銅製錬の副産物です。各大学での試験の結果、コンクリートに使用した場合、乾燥収縮が非常に小さく、ひび割れしにくいとされています。

ネットワーク の強み

ピーエス三菱グループの工場群は、 PC技術を支える部材製作の拠点です

当社グループは傘下に10の工場（国内7、海外3）を有し、設計・施工だけでなく、部材製作からメンテナンス・リニューアルといった建設業における川上から川下までのサプライチェーンを通じて提供していくというビジネスモデルを構築しています。

例えば部材製作において、高品質なプレキャストコンクリート部材を製造し、建設現場に安定供給するには、材料から出荷に至るまでの一貫した生産システムが必要です。

ピーエス三菱の工場群がもつ品質管理能力の高さが、PC技術の根幹を支えています。



年間60,000tの生産能力を誇る工場をはじめ、各工場から高品質な製品を供給



厳しい品質管理と一貫した生産管理体制で、注文を受けてから出荷まで短期工程を実現

ピーエス三菱ネットワーク

施工現場に近い工場から部材を供給し、省力化や環境負荷低減・工期・低コスト化に貢献しています。



高品質な製品を土木・建築のさまざまな部材として提供

歴史探訪（工場）

1952（昭和27）年創業時、七尾工場（石川県）からスタートしました。その後、各地方の需要に応えるべく、鴨宮工場（神奈川県）、伊丹工場（兵庫県）、水島工場（岡山県）と次々に生産拠点を整え、昭和34年時点では、当社が有する7工場が全国のプレストレストコンクリート事業会社の工場数の5分の1を占めるほどでした。各地に工場を有することは地元に着根した営業活動に繋がり、大きなセールスポイントとなりました。



七尾工場



伊丹工場

会社情報

■ 会社概要

商 号	株式会社ピーエス三菱 P.S. Mitsubishi Construction Co., Ltd.
設 立	昭和27年3月1日
資 本 金	4,218,500,000円
従業員数	単体：1,048名 (平成29年3月31日現在) 連結：1,672名
本社・支店	(平成29年4月1日現在)
本 社	〒104-8215 東京都中央区晴海二丁目5番24号 (03) 6385-9111
東京土木支店	〒104-8572 東京都中央区晴海二丁目5番24号 (03) 6385-9511
東京建築支店	〒104-8572 東京都中央区晴海二丁目5番24号 (03) 6385-9611
東北支店	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目8番1号 東菱ビル (022) 223-8121
名古屋支店	〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内一丁目17番19号 キリックス丸の内ビル (052) 221-8486
大阪支店	〒530-6027 大阪府大阪市北区天満橋一丁目8番30号 OAPタワー (06) 6881-1170
広島支店	〒730-0036 広島県広島市中区袋町4番25号 明治安田生命広島ビル (082) 240-7011
九州支店	〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜二丁目4番1号 東芝福岡ビル (092) 739-7001

■ 役 員 (平成29年6月27日現在)

取締役および監査役

代表取締役社長	藤 井 敏 道
代表取締役副社長	森 拓 也
代 表 取 締 役	黒 柳 辰 弥
代 表 取 締 役	蔵 本 修
取 締 役	小 山 靖 志
取 締 役	居 村 昇
取 締 役	鳥 井 博 康
取 締 役	不死原 正 文
取 締 役	岸 和 博
常 勤 監 査 役	朝 倉 浩
常 勤 監 査 役	大 内 辰 夫
常 勤 監 査 役	鈴 木 義 晃

(注) 取締役鳥井博康、不死原正文、岸和博の3氏は社外取締役であります。
監査役朝倉浩、大内辰夫の両氏は社外監査役であります。

執行役員 (※は取締役兼務)

※ 社 長 執 行 役 員 (全般統理)	藤 井 敏 道
※ 副社長執行役員 (技術本部長・安全品質 環境担当兼海外事業担当)	森 拓 也
※ 常 務 執 行 役 員 (建築本部長)	黒 柳 辰 弥
※ 常 務 執 行 役 員 (土木本部長兼兼高速鉄道 推進室長)	蔵 本 修
常 務 執 行 役 員 (社長補佐・国内関係会社担当)	塚 原 明 彦
※ 執 行 役 員 (管理本部長)	小 山 靖 志
※ 執 行 役 員 (建築本部副本部長)	居 村 昇
執 行 役 員 (建築本部副本部長)	正 木 慎 一
執 行 役 員 (大阪支店長)	川 原 利 朗
執 行 役 員 (東京土木支店長)	宮 脇 裕 明
執 行 役 員 (建築本部副本部長)	岡 島 裕
執 行 役 員 (東京建築支店長)	山 田 宏 志
執 行 役 員 (名古屋支店長)	森 勝 茂
執 行 役 員 (東北支店長)	森 島 修

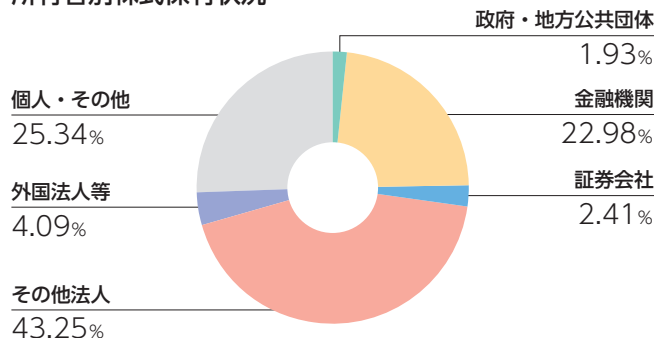
■ 株式の状況 (平成29年3月31日現在)

発行可能株式総数	11,000万株
発行済株式の総数	47,486,029株
株主数	9,512名

大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
三菱マテリアル株式会社	15,860,354	33.48
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 太平洋セメント 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	4,491,300	9.48
住友電気工業株式会社	1,834,800	3.87
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社 (信託口)	1,620,900	3.42
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社 (信託口)	1,525,500	3.22
岡山県	839,740	1.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (役員報酬BIP信託口・75949口)	601,100	1.26
三菱地所株式会社	496,000	1.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式 会社 (信託口5)	441,300	0.93
ピーエス三菱従業員持株会	416,095	0.87

所有者別株式保有状況



ホームページのご案内

当社のホームページでは、株主の皆様向けの情報として、財務・業績情報、IR資料、プレスリリース等、IRに関する情報をタイムリーに掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

アドレスはこちら

<http://www.psmic.co.jp/>



当社HP

IRサイト



■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.psmic.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所
単元株式数	100株

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(ご案内)

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

○法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

〈主な支払調書〉

- ※配当金に関する支払調書
- ※単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

【マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先】

- 証券口座にて株式を管理されている株主様は、お取引の証券会社までお問い合わせください。
 - 証券会社とのお取引がない株主様は、上記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
- 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

表紙の説明



本工事は、京都府宇治市を流れる宇治川にある天ヶ瀬ダムの下流に位置し、国内で5橋目となる床版架設工法を用いた自旋式PC吊床版橋です。天ヶ瀬ダムと景観が調和するように配慮されたデザインが特徴的であり、地域の新たな観光の一つとして期待されています。

コーポレートマーク



生命の神秘である植物の発芽がモチーフです。発芽は、力強い成長を意味し、新分野・新領域の開拓を表現しています。

また、オレンジが大地（＝土木）、ブルーが空（＝建築）、全体で地球をイメージして、自然と共生する企業を具象化しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この印刷物は、有機溶剤等を使用しない環境にやさしい「水なし印刷」で印刷し、「ベジタブルインキ」を使用しております。また、針金を使わずに製本しております。